

令和8年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（世界史）解答例

受験校種	高・特	教科科目	世界史						得点	
------	-----	------	-----	--	--	--	--	--	----	--

1 (4点×15)

【地理】

問1	京都議定書	問2	ドーナツ化現象	問3	アパルトヘイト (人種隔離政策)
----	-------	----	---------	----	---------------------

問4	メスチーソ	問5	本初子午線
----	-------	----	-------

【日本史】

問6	大仙陵古墳 (仁徳天皇陵古墳)	問7	御成敗式目 (貞永式目)	問8	イ
----	--------------------	----	-----------------	----	---

問9	超然主義	問10	治安維持法
----	------	-----	-------

【世界史】

問11	オスマン帝国	問12	イ	問13	レオナルド＝ダ＝ヴィンチ
-----	--------	-----	---	-----	--------------

問14	イ	問15	東南アジア諸国連合 (ASEAN)
-----	---	-----	----------------------

令和8年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（世界史）解答例

受験校種	高・特	教科科目	世界史						得点	
------	-----	------	-----	--	--	--	--	--	----	--

2 (20点)

問1	東部では鮮卑などの「五胡」が華北に進出して政治的分裂を引き起こし、西部ではフン人の大規模な西進がゲルマン人の大移動を促した。
----	--

問2	D
----	---

問3	スイス・オランダの独立が正式に認められた。神聖ローマ帝国ではカルヴァン派が公認されたほか、各領邦に主権を認めたことで帝国は有名無実化した。
----	---

問4	⑤
----	---

令和8年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（世界史）解答例

受験校種	高	教科科目	世界史						得点	
------	---	------	-----	--	--	--	--	--	----	--

3 (30点)

11世紀から中世温暖期を迎えたヨーロッパでは、外部勢力の侵入がおさまったことや三圃制、犁・水車の普及などを背景に農業生産力が拡大し、人口も飛躍的に増大した。宗教的情熱の高揚もあいまって西ヨーロッパ世界は次第に内外に向けて拡大を始めた。中でも大規模なものが十字軍である。

諸侯や騎士たちからなる第1回十字軍は、1099年に目的を果たし、イェルサレム王国を建国した。しかし12世紀になるとアイユーブ朝のサラフ=アッディーンの攻撃によってイェルサレムを失い、その回復のために第3回十字軍が派遣されるが失敗に終わった。続く第4回十字軍ではヴェネツィア商人の要求に迫られ、聖地回復の目的を捨ててビザンツ帝国のコンスタンティノープルを占領し、ラテン帝国を建国した。その後も第7回まで十字軍は続いたが、聖地回復を果たすことはなかった。

相次ぐ遠征の失敗によってローマ教皇の権威はゆらぎ、諸侯の中には没落する者も多かった。反対に遠征を指揮した国王の権威は高まった。また十字軍の輸送を通じて地中海貿易による東方との交流が活発になり、ビザンツやイスラームの文物が流入した。

令和8年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（世界史）解答例

受験校種	高	教科科目	世界史						得点	
------	---	------	-----	--	--	--	--	--	----	--

4 (30点)

ロシア帝国のはじまりであるモスクワ大公国のイヴァン4世は16世紀に農奴制を強化し、大貴族を抑えて皇帝に権力を集中するツァーリズムを確立した。またコサックの首長イェルマークのシベリア遠征を支援し、東方進出を図った。コサックはロシアの拡大に伴い半自治権を与えられたが、後にステンカ=ラージンの乱などを契機に自治権は縮小されていった。17世紀にロマノフ朝が成立しピョートル1世が即位すると、北方戦争でスウェーデンを破ってバルト海沿岸に進出し、新首都ペテルブルクを建設した。また清朝とネルチンスク条約を結び国境を定めるとともに、西欧の先進技術を導入し軍事改革に努めた。18世紀のエカチェリーナ2世はポーランド分割やクリミア半島進出で領土を拡大するとともに、啓蒙専制君主として上からの近代化に努めたが、プガチョフの反乱後は貴族の特権を認め、農奴制を強化するなど反動化した。

清朝では、16世紀末に女真族をヌルハチが統一し、ホンタイジがチャハルを征服して清朝の皇帝と称した。その後清朝は北京を占領し中国全土を征服し、南方には呉三桂らの三藩を置き間接統治を図った。17世紀に康熙帝は三藩の乱を鎮圧するとともに台湾を征服し、続く雍正帝は軍機処を整備して帝国支配の基礎を固めた。18世紀の乾隆帝はジュンガルを滅ぼして東トルキスタンを占領し「新疆」とした。広大な領土の中でチベットやモンゴルは理藩院の統括の下、ダライ=ラマなど現地の支配者が存続し、清朝は藩部の宗教等には干渉しなかった。このような統治は諸民族の懐柔に成功する一方で、「中華」を中心とした冊封関係や朝貢貿易を維持し、18世紀末に訪れたマカートニーらの使節が求める主権国家間の対等な外交関係を清朝と他国が結ぶことは困難だった。

令和8年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（世界史）解答例

受験校種	高	教科科目	世界史						得点	
------	---	------	-----	--	--	--	--	--	----	--

5 (10点×4)

(1)

第3次中東戦争の失地回復のため、1973年、エジプト・シリアがイスラエルを攻撃し第4次中東戦争が勃発した。これに対しアラブ諸国を含む石油輸出国機構（OPEC）は、イスラエルを支援する西側諸国に圧力をかけるため、原油価格を引き上げた。その結果、日本を含む西側諸国では急激な物価高となり、第1次石油危機（オイル=ショック）が発生した。

(2)

紀元前27年にオクタウィアヌスは元老院からアウグストゥスの称号を与えられた。かれは元老院などの共和政の制度を尊重し、市民の第一人者（プリンケプス）と自称しながら、実際にはすべての要職を兼任して全政治権力を手中に収め、事実上の皇帝独裁をしいた。

(3)

三国時代の魏で始まった九品中正は、有力豪族による高級官職の独占を招き、全国的な家柄の序列が固定化して貴族層が形成された。隋代に科挙が導入され、唐の則天武後の時代には政治の担い手が貴族から科挙官僚に移り始めた。唐末から五代にかけての混乱で貴族は一掃され、儒学の教養を身に付けた資産家官僚（士大夫）が社会において強い力を持った。

(4)

作品名：民主を導く自由の女神

作者名：ドラクロワ

ロマン主義は、それぞれの地域や民族に固有な言語・歴史文化を見直して、民族精神の起源を見出そうとし、個人の感情や想像力を重視する文化的潮流である。

令和8年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（世界史）解答例

受験校種	高・特	教科科目	世界史						得点	
------	-----	------	-----	--	--	--	--	--	----	--

6 (20点)

【単元の主題】

アメリカが抱える問題は、建国以来どのように変わってきたのだろうか。

【授業の展開例】

○ 本時のねらい

- (1) アメリカ合衆国の領土拡大の経緯から、南北戦争が起こった背景を貿易や奴隷制に着目して理解させる。
- (2) 諸資料を活用して、本時の学習内容と現代のアメリカが抱える諸問題について関連付けて考察し表現させる。

○ 指導上の留意点

- (1) ICTや諸資料を活用して、アメリカ合衆国の領土拡大や南北戦争について調べさせる。調べた内容をグループで共有させて対話的な学習場面をつくりながら展開する。
- (2) 考察する際は他者の意見を取り入れ、多角的・多面的な視点から自身の考察を深めるように展開をはかる。

○ 具体的な展開例

(1) 導入

- ア アメリカ合衆国独立の経緯を復習させる。
- イ 現代のアメリカが抱える諸問題について調べて共有させる。

(2) 展開

- ア 「南北戦争に至るまでの過程はどのようなものだったのか」を問いとして設定し、個人用端末や資料集を活用しながらアメリカ合衆国の領土拡大についてグループごとにまとめて表現させる。また、南北戦争に至る背景を北部・南部の主張と西部に対する政策を確認する。
- イ 「南北戦争はどのように展開されたのか」を問いとして設定し、南北戦争の勃発から終結までを確認するとともに、戦後のアメリカの状況と現代のアメリカが抱える諸問題との共通点や相違点について考察させる。

(3) まとめ

- ア グループごとに考察した結果を発表させる。
- イ 個人で本時の学習内容を振り返り、文章で表現させる。